

ています。

現在のLINEスタンプ問題に結論を出して、更に一步、前に進める段階に入れていると思っています。すべては裁判所の公正な判断にかかっていますので、皆さんからも厳しい目を向けてください。そして声を大きくして膨らませてください。宜しくお願い致します。

(3月20日・加藤映次)

## 天神さんに祈る (第14回)

### 吉祥院天満宮

今回ご紹介する「吉祥院天満宮」は少し変わった天神さんとして知られています。道真の祖父・菅原清公の乗った唐からの帰国船が嵐に遭い、同乗の最澄ともども「吉祥天女」に航海の無事を祈ったところ、嵐が止んだという伝説があり、境内には「天女社」も祀られています。この「吉祥天女」が吉祥院の名の由来とのこと。アニメのような虎や牛も鎮座しています。更に特筆すべきは「道真公産湯の跡」もあり、他の天満宮とは一線を画しています。まさか雪冤の神様の浸かった産湯が存在しているとは！ ご利益ありそう！

〒601-8331 京都府京都市南区吉祥院政所町3

TEL. 075-691-5303

※菅原道真は学問の神様として有名ですが、実は雪冤の神様でもあります。詳しくは会報24号の編集後記をご覧ください。



## 加藤映次さん面会記 2024年3月21日(木)

千葉刑務所は、いうまでもなく桜井昌司さん、杉山卓男さん、石川一雄さん、菅家利和さんなど、獄友4兄弟の出身地であり、網走番外地を思い出させる明治レトロな外観でも有名な名門監獄だ。いまは、加藤映次さんのほかに、勝又拓哉さん、伊原康介さん、守大助さんなどが冤罪とのたたかいを続けている場所だ。

加藤さんとの面会は、たぶん1年ぶりくらいか。面会室に入ってきた彼の顔色は悪くない。元気そうだ。そういう様子を見るだけで、こっちの気分も明るくなる。ただし、顔にマスクをつけていて、はずすことは許されないのが少々うっとおしい。

私も面会室に入る前に、マスクをつけるように一言いわれた。もう世間じゃ2~3割の人しかマスクしてないのに、ここはいまだにマスク必携だ。「まだマスクつけろとかうるさいんだね」と言うと、立ち会いの看守が、「ここは人も多くいるし…」なんだかんだと言いつつをくだき出した。いいよ、分かってるよ、あんたに文句言ってるわけじゃないのよ、と言ってあげたくなる。ここの立ち会い看守は概して人のよさそうなおっさんが多い。まあどうでもいいけど。

三者協議が8回も開かれているのに、進行がウクライナとロシアみたいな膠着状態になっていることがまず話題になる。検察が引き延ばしをはかっているのは分かるけど、それ以上に裁判所が職権発動をちらつかせるイチケイノカラスじみた裁判長から、日和見、ヒラメっぽい裁判長に代わったことがボトルネックかもしれない。はたして裁判官達が、スタンプのダウンロードの意味を本当によく理解しているのか否か心配だ、というのが映次さんの話。デジタルフォレンジッ